

## 関西支部 平成 21 年度 第 2 回見学会報告

神鋼神戸発電所と神戸製鉄所の見学会を平成 21 年 10 月 23 日に実施した。正午過ぎに JR 六甲道駅に総勢 30 人の参加者が集合し、観光バスで灘浜の神戸製鉄所を訪れた。初めにビデオで神戸製鋼所の百年にわたる発展の歴史の紹介があった。その映像に阪神大震災で壊滅的な被害を受け倒壊した工場現場に立ちつくす人や周辺の荒れ果てた風景が映り、震災当時を思い出し涙なしでは見られなかった。移転することなく灘浜の地に立派な製鉄所を再興し、さらに新式の都市型発電所まで建設して、神戸市の復興に貢献している企業風土に接し、立派な企業であることを再認識した。本業の棒鋼と線材の製造ラインには種々の非破壊検査が取り入れられており、製品の品質は高く、その中で車載バネは世界の 50%の自動車に積載されているとのことである。発電所では 2 基の石炭火力発電炉で 140 万キロワットを発電し、実に神戸市の電力の 70%の需要を賄っているとのこと。炭酸ガス以外は一切の産業廃棄物を出さない環境対策万全の都市型発電所が神戸市内にあることを、同市内に永年住んでいるのに全く知らず、己の地元への関心の低さを恥じ入った次第である。丁寧な説明をして戴いた神戸製鋼所の方々に厚くお礼申し上げます。なお、構内に併設されたサイエンススクエアのライドシアターに小学生気分に乗った興奮と、帰りに六甲道駅前にある宇宙軒という小さなスタンドで食した餃子の美味しかったことを記して報告を終えます。（文責 戸田）



観光バスの中で



神戸製鉄所と神戸発電所の説明者の方々



神戸製鉄所の圧延ライン  
(神戸製鋼所(株)ホームページより)



神鋼神戸発電所 (IPP) 150m煙突